

開催中

資料館 だより



春の企画展

端午の節句

今回で9回目となりました、端午の節句にちなんだ企画展を開催しています。皆さんから寄贈していただいた五月人形や段飾り、土人形など展示し、新聞紙などで作る端午の節句にちなんだ工作コーナーもあります。

また、かつらぎ甲冑や陣羽織を着て写真撮影ができるコーナーを開設しています。ぜひご家族でお越しください。

期間 6月4日(日)まで

写真撮影コーナー

受付時間 午前9時30分から11時30分 午後2時から4時

※甲冑は、大人用1領、子ども用3領(サイズ別)、また、2・3歳児のお子さん用かぶと1頭をご用意しております。陣羽織は、乳幼児から大人までサイズ別に5着をご用意



しております。ただし、1回の写真撮影につき、いずれか1着のみのご利用となります(受付時にご利用人数を伺います)。

※保護者同伴の上、カメラを持参してください。

※来館時に、資料館スタッフにお申し付けください。受付状況によっては、1時間以上お待ちいただく場合があります。

歴史民俗資料館ご利用案内

休館日 月・火・水曜日

※企画展開催中の水曜日は開館します。

※祝日は開館

開館時間 午前9時から午後5時

入館料 無料

問合せ先 ☎94-0055

八剱社 豊田獅子囃子を後世に

大口町豊田八剱社祭礼で毎年地域を練り歩く獅子屋形が40周年記念事業で新しく生まれ変わり、4月2日(日)の春の祭礼金助桜まつりでお披露目されました。

大口町では、約280年前より各地区で獅子神楽を神社に奉納し、村内安全、五穀豊穡を祈願してきましたが、明治初年ごろ自然に取り止められました。しかし、昭和53年、氏子の家内安全や諸業繁栄を祈願するため、初代名譽町民でもある社本鋭郎さんが豊田獅子囃子保存会を奉納され、今日まで40年間伝承されてきました。40周年記念事業として、福玉楯会長の社本宮明さんが獅子倉庫改造と獅子屋形改造、獅子諸式一切を寄贈されました。

豊田獅子囃子保存会の獅子屋形は祭礼時(金助桜まつり・例大祭・大晦日)に奉納され、大切に守り伝えられています。



▲改造された獅子屋形

